

# 東北民放クラブだより

## 遊歩と遊覧船の奥松島・歩こう会

八巻 健(TBC)

260余の島が浮かぶ松島湾。歩こう会は10月10日、湾の東端・奥松島を歩き、小型遊覧船で島巡りを楽しみました。



奥松島を背景に記念写真

仙石東北ライン経由で奥松島の玄関口・野蒜駅に降り立った参加者16名が最初に向かったのは宮戸島の大高森。松島湾に浮かぶ島随一の高さを誇る105・8mの山です。頂上からの眺望は360度。パノラマ。眼下の海に島が浮かび、はるか西方に蔵王連峰の雄姿がありました。

浅い水路まで進入できる小型遊覧船の島めぐりはユニークです。雪庇ならぬ岩の庇が目にとまったのは遊覧船が帰路についた頃でした。下部は削られ庇の上に松が生えている。崩れ落ちるのは時間の問題でしょうか。成因は風による浸食ということでした。

歩いた後の楽しみは昼食。月浜の民宿で靴を脱ぎ、寄せては返す砂浜の波を眺めながらの歓談と海の幸が格別でした。

## 「中泊メバル膳で」青森交流会

田沼 孝(RAB)

青森の地域振興B級グルメに、深浦マグロステーキ丼、平内ホタテ活御膳、中泊メバルの刺身と煮付け膳などがあります。

9月1日、青森の会員8名が青森県西海岸にある中泊町に集合。

津軽伝統「金多、豆蔵人形劇」を観ました。酒呑みでドジな金多とおつちよこちよいだが情にもろい豆蔵が世相と風刺を取り入れて津軽弁でやりとりをする人形劇には大いに笑いました。

続いて十三湖畔にある「はくちよう亭」で中泊メバル膳にご対面。メバルの刺身姿盛りに熱々煮付け、イカ刺しご飯も付いていました。津軽海峡メバルの美味しさは言うまでもありません。

食べながら、つつい現役時代の失敗談や自慢話が出てきます。1年に1回は集まりましようと言しながら初秋の津軽路のドライブを楽しみながら帰途につきました。



メバル膳で楽しい青森県交流会

## 秋のミステリーツアー・旅同好会

庄司精一(OX)

11月2日午前8時「旅・グルメ同好会」のメンバーを乗せた「マツタケ食べ放題ツアー」のバスが

仙台駅を出発。「どこに？」の声の中バスは東北道を南下し福島から山形に。2時間後に着いた最初の目的地は上杉鷹山を祀る米沢の上杉神社。参拝後紅葉をバックに集合写真です。バスは移動してクライマックスの「マツタケ食べ放題」の会場に。松茸御飯、蕎麦、お吸物は食べ放題で皆さん満腹。

次のポイントはワイナリー。

訪れたのは平成2年創業の高畠ワイナリー。白、赤と思いに試飲を楽しみました。ツアーのラストは食べ放題のぶどう狩りです。最盛期は過ぎたもののそれぞれカゴを手にブドウ園に入り巨峰、スチューベンと心行くまで。「ブドウは房の上の方が甘い」これは常識だそうです。ともあれ満足度充分のミステリーツアーでした。



マツタケご飯食べ放題で満腹